

2025年7月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日未満

- 25034M** B4(女性:22歳);裸眼のままトランスイルミネーターのUVランプを直視したところ、両目に炎症を起こした(休業3日)。保護メガネを着用すべきだった。
- 25039M** M2(女性:24歳);ゼミの途中で突然意識を失い倒れ、救急搬送された(休業2日)。体調不良だった。
- 25043M** 事務職員(女性:39歳);イベント時の誘導作業中、熱中症による脱水症状で倒れて救急搬送。(休業1日)。水分補給が不足していたと思われる。
- 25053M** M2(男性:24歳);帰宅途上で息苦しさを感じて救急搬送され入院した(休業3日)。因果関係は不明だが、有毒ガスが発生したと思われる事象(25052NI)の発災時に1つ上の階の研究室内に滞在していた。
- 25054M** 用務補佐員(男性:68歳);構内を巡回歩行中に縁石につまずいて転倒し、左掌と左肩を打撲した(休業1日)。
- 25056M** 特任研究員(男性:35歳);体調が優れないにもかかわらず無理に研究を続行していて体調が悪化。救急搬送され入院治療を受けた(休業3日)。

・不休業

- 25042F** M2(男性:23歳);分液操作中に発生した硫化水素と思われる生成物により体調不良になった。ドラフトチャンバーを使用していたが、内部に他の装置やサンプルが置かれていたため、前面スライドドアの近傍で作業をしていた。
- 25045F** 専攻研修医(男性:27歳);自転車で走行中にアスファルト路面の補修部分の段差でバランスを失い転倒。手首を怪我した。
- 25046F** M2(男性:23歳);歩行中に急に胸部に痛みを感じ、救急搬送された。胸膜炎だったとのこと。
- 25047F** D1(女性:30歳);演習室での自習中に気分が悪くなり、救急搬送された。ストレス性胃腸炎とのこと。
- 25048F** 雇用外研究員等(女性:27歳);歩行中に構内の歩道で足を滑らせて転倒。腰と背中を強打して救急搬送された。降雨により足元が滑りやすくなっていた。
- 25049F** M1(男性:23歳);メスの刃を柄からははずす際に指を深く切り、縫合治療を受けた。ブレードリムーバーを使用すべきであった。
- 25050F** 研究員等(女性:47歳);混練(材料素材を高温で溶融し混ぜ合わせる)装置を作動させていたところ、目の不快感、頭痛、息苦しきなどの体調不良が生じた。装置を設置していたブースの換気用ダクトが適切に施工されていなかった。
- 25051F** M1(女性:22歳);ニトリル手袋を着用して手指消毒をした後、消毒用アルコールが十分に乾燥しないままガスバーナーを用いたため引火。指に火傷を負った。
- 25058F** B4(女性:21歳);ガラス製の薄層クロマトグラフィープレートの尖った端が右手人差し指に刺さった。手ではなくピンセットで取扱うべきであった。
- 25059F** 事務職員(女性:50歳);小走りで移動していて地面の小さな段差につまずき転倒。右顔面を強打したため右上唇を切るなどして救急搬送された。用事があり急いでいた。
- 25060F** B3(男性:22歳);ボール盤で穴あけ加工中、被削材がドリルに食いついて回転したため、手で押さえようとして親指の爪部分を切創した。被削材をクランプ固定せずに作業をしていた。
- 25061F** 学術専門職員(男性:66歳);総重量約40kgのフランジ付きパイプの位置を変えようと持ち上げたところ、手を滑らせて作業台の上に落としてしまった。この際、フランジと台の間に右手薬指を挟み、粉碎骨折及び裂傷を負った。

- 25064F** M2(男性:24歳);3D プリンター内部の反射板に付着した樹脂をカッターで取り除こうとしたところ手が滑り、板を支えていた左手に刺し傷を負った。保護手袋を着用していなかった。
- 25066F** M2(女性:24歳);重量のある円筒形のセルを試験装置内部に設置しようとして手を滑らせ、セルと装置の間に右手中指を挟み、内出血を起こした。
- 25070F** 技術職員(男性:49歳);崩落土石撤去作業中、かき集めた土石の上を歩いているバランスを崩して転倒。右胸を油圧ショベルのキャタピラーに打ち付けた。
- 25071F** 用務補佐員(男性:20歳);しゃがんで清掃作業をしていて立ち上がった際に、廊下の掲示板下部に頭部をぶつけ破損させた。
- 25075F** 教授(男性:55歳);山道を下っていた際、石に躓いて右膝から転倒し右足首を捻った。亀裂骨折していた。
- 25076F** B3(男性:20歳);日陰がほとんどない海沿いの岩場で野外活動中、開始から5時間程経過したところで熱中症になった。
- 25077F** B3(男性:20歳);日陰がほとんどない海沿いの岩場で野外活動中、開始から5時間程経過したところで熱中症になり、救急搬送された。活動中の水分補給が疎かになっていた。

・通勤災害

- 25057J** 看護師(女性:49歳);歩行中に歩道の縁石にぶつけて足の小指を打撲した。
- 25065J** 研究員等(女性:29歳);駅のエスカレーターで転倒し、右膝に切創を負った(休業1日)。降雨で足元が濡れて滑りやすくなっているところ、エスカレーターを急いで駆け上がっていた。
- 25068J** 学術専門職員(女性:61歳);雨で濡れたエスカレーターのステップに踏み込んだ際に滑って転倒。右上腕骨頸部を骨折した(休業5日)。

・ヒヤリハット

- 25040H** 特任専門員(男性:67歳);真空排気装置の配線作業中に地絡し、地絡警報器が動作した。電力供給元の分電盤ブレーカーを落として作業すべきところ、機器の電源をオフにただけで作業していた。

・その他

- 25067S** 関係者(女性:46歳);駐車場所から公用車をバックさせていたところ、後方の木に衝突して車両後方損傷した。過去にも複数の事故歴がある場所だった。

・人的被害なし、設備災害でない小火あり

- 25063Nf** B4(男性:22歳);少量(0.1~0.2 mL)のヒドラジーン水和物を水で希釈してダンボール製の可燃物のごみ箱に捨てたところ発火。消火砂で消火した(非火災)。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

- 25041Nd** 建物のガラスが割れていた。屋外から何かがぶつかったためと推測される。
- 25044Nd** 病院診療医(大学院生)(女性:46歳);電子レンジの電源プラグとアース線を壁コンセントから抜いたところ、火花が散って壁コンセントが焦げた(未火災)。アース線を3P コンセントの穴に押し込んで使用していたため、コンセント内部で短絡したものと思われる。
- 25055Nd** D1(男性:25歳)・技術職員(男性:39歳);装置内部において熱電対の被覆が破け、外装との接触によりショートした。装置の電源投入後にブレーカーが落ちてしまう状況であったものの、1週間以上に渡って電源投入とブレーカー遮断を繰り返していた。
- 25069Nd** 研究員等(男性:67歳);機器冷却水の配管途中に設置しているフィルターの変換作業後、フィルター容器から漏水が生じた。容器の劣化が原因だった。

25073Nd 高さ 10m 直径 1m の樹木が根本から倒れ、5m 程離れたプレハブ倉庫の屋根を損壊した。

25074Nd 教授(男性:48歳)・助教(男性:32歳)・研究員等(男性:34歳);調査のため狭くて未舗装の林道をレンタカーで移動中、道の両脇にあった笹に車両側面が接触してドアに傷がついた。

25078Nd 建物の正面玄関底からタイルレンガの一部が落下した。老朽化が原因と思われる。

・人的被害なし、設備災害でない有害物（臭）流出あり

25052NI M1(男性:22歳);古いチオホスゲンの試薬ビンを開栓したところ、内圧により噴出してゴミ箱内に漏出。廃棄してあった濡れたペーパータオルの水分と反応して異臭と白煙が生じたため、全館避難する状況となった。事故については消防・警察への通報が為されていなかった。

以上 教養学部等環境安全管理室